

感染リスクを軽減させた競技会運営に向けた対応について

競技者・チーム関係者（指導者・コーチ・部員）対策

一般社団法人横浜市陸上競技協会

本協会主催競技会に関わる競技者・チーム関係者（指導者 コーチ 部員）の方々は、つぎの事項を遵守して競技会に参加してください。

【競技会開催の前提条件】

1 緊急事態宣言の解除

神奈川県警戒アラートが発出されていない。

（※発出されても①～④の条件下では開催する。）

① 移動制限の解除

② 不要不急の外出自粛の解除

③ 店舗営業自粛の解除

④ 学校で部活動・対外競技会への参加が認められていること。（高校生 中学生）

2 競技会開催を神奈川県が認めていること。

3 県内において新型コロナウイルス感染症の診療体制が整っている緊急時の後方支援病院があること。

4 競技会に関わる全ての人（競技役員・競技運営関係者・競技者・チーム関係者等）は、各自つぎのように健康状態を整えて競技会に臨むこと。

・ 3密（密閉 密集 密接）を避けて行動する。

・ 体調（咳 鼻水 咽頭痛 下痢 味覚障害 嗅覚障害等の自覚症状）管理を徹底する。

・ 手洗い、手指の消毒、洗顔を徹底する。

・ マスクを着用する。息苦しさを感じた場合は、マスクを外して、水分補給や休憩を取るなど無理をしない。

・ 開催1週間前からの体調報告と検温の義務。

・ 終了後、2週間以内に発熱等の症状があった場合には最寄りの保健所、医師会、診療所等に報告・相談しその後必ず横浜市陸協に報告する。

5 日本陸連作成 陸上競技活動再開についてのガイダンス「競技会の開催について」に沿った競技会運営をする。

6 主催者は、競技会に関わる全ての人への感染に対するいかなる責任を負わない。

【競技者・チーム関係者（指導者・コーチ・部員）対策】

- 1 競技者・チーム関係者は、大会1週間前から検温を義務付け、指定の「大会前／提出用新型コロナウイルス感染症についての体調管理チェックシート」に記入し大会本部へ提出する。一般・大学生・クラブチームは、チーム代表者が「大会前／提出用新型コロナウイルス感染症についての体調管理チェックシート」をチェックして「参加状況報告書」（横浜市陸協HPよりダウンロード）を提出すること。但し、中学生は中体連、高校生は高体連でそれぞれ指示された書類を提出すること。
また、提出前に、提出するデータをコピーまたは写真に撮り、保管すること。
未提出者は、競技会の出場や会場への入場はできない。
- 2 「大会前／提出用 新型コロナウイルス感染症についての体調管理チェックシート」を横浜市陸協HPからダウンロードし、代表者を通じて参加者へ配布すること。
- 3 主催者は、「大会前／提出用 新型コロナウイルス感染症についての体調管理チェックシート」の個人情報の取り扱いには充分注意しながら1ヶ月保管し、適正かつ速やかに廃棄する。また、この個人情報を保健所、医療機関等の第三者へ提供する事がある。
- 4 不確かな競技者・チーム関係者がでた場合は、その場で検温を実施し状況によっては、競技会への出場や会場への入場を許可しないことがある。
- 5 競技の時以外（招集中・移動中・待機中）は、マスクを必ず着用する。
- 6 競技会の規模、目的に応じて参加資格を制限することがある。
 - ・年齢、参加資格記録等でレース数、組数を調整することがある。
- 7 更衣室の使用は、短時間にする。（※シャワールームは使用禁止）
更衣室の目的外使用は禁止する。
- 8 ダッグアウト裏通路を使用する場合は速やかに通り抜ける。
- 9 ゴミは、各自で持ち帰って処理する。
- 10 中長距離レースでは、少人数でも2段階スタートで実施することがある。
- 11 開会式、閉会式、表彰式は原則、実施しない。
- 12 フィールド種目の待機中、ソーシャルディスタンスを確保する。
- 13 投擲器具や滑り止め（炭酸マグネシウム）は、共用できる。但し、滑り止めは、競技者自身が容器に手を入れて着ける形ではなく競技役員や補助員から適量を受け取る方法、または、競技者の持ち込みも可とする。投擲器具についても各自持ち込みを可とする。感染防止の観点から投擲器具・滑り止めは、持ち込みを推奨する。
- 14 跳躍競技の助走練習、投擲練習は、競技役員が1人ずつ順番に競技者を呼び出す方法で実施する。
- 15 フィールド種目の待機中、競技者同士の会話は、極力避けマスクを着用する。
- 16 声を出しての応援、集団での応援は、禁止する。
テントの使用については「三密」を避けて使用する。
- 17 競技者への付き添いは、禁止する。

- 18 ウォーミングアップは、個別に行い集団によるものを禁止する。
- 19 ウォームアップ場への入場は競技者のみとする。
- 20 競技場施設への入場方法は、3密を避け、転倒等の事故が起こらないよう開門時に係員が指示するのでそれに必ず従うこと。各団体が並ぶ人数は1名とする。
順番に並ぶ際は、お互いにソーシャルディスタンスを確保して会話も極力避けること。
- 21 競技会終了後、参加者は新型コロナウイルス発症症状が4日以上続く場合は、必ず最寄りの神奈川県衛生部局と横浜市陸協に報告する。(横浜市陸協担当：090-8173-9066)
- 22 観戦の観客への対応事項
 - ① 関係者以外の競技場・ウォームアップ場への入場はできない。
 - ② 競技場・ウォームアップ場施設入場口に看板や貼紙で注意を促す。

【大会前／提出用】新型コロナウイルス感染症についての体調管理チェックシート（第2版8月11日改訂）

本チェックシートは各種大会において新型コロナウイルス感染症の拡大を防止するため、参加者の健康状態を確認することを目的としています。本チェックシートに記入いただいた個人情報については、厳正なる管理のもとに保管し、健康状態の把握、来場可否の判断および必要なご連絡のためにのみ利用します。また、個人情報保護法等の法令において認められる場合を除きご本人の同意を得ずに第三者に提供いたしません。但し、大会会場にて感染症患者またはその疑いのある方が発見された場合に必要な範囲で保健所等に提供することがあります。

個人情報の取得・利用・提供に同意する

※大会1週間前から記入し、大会当日、主催者の指示に従い指定の場所に提出すること

※該当しない場合は✔を入れ、該当する場合は○を記入すること（体温0.1℃単位の数字を記入）

No.	チェックリスト	／	／	／	／	／	／	／	／
1	のどの痛みがある								
2	咳（せき）が出る								
3	痰（たん）がでたり、からんだりする								
4	鼻水（はなみず）、鼻づまりがある ※アレルギーを除く								
5	頭が痛い								
6	体のだるさなどがある								
7	発熱の症状がある								
8	息苦しさがある								
9	味覚異常(味がしない)								
10	嗅覚異常(匂いがしない)								
11	体温	℃	℃	℃	℃	℃	℃	℃	℃
12	薬剤の服用(解熱剤を含む上記症状を緩和させる薬剤)								

氏名 _____

所属（学校名など） _____

※参加者が未成年の場合

連絡先（電話番号） _____

保護者氏名 _____



【大会後／個人管理用】新型コロナウイルス感染症についての体調管理チェックシート

※大会終了後2週間は健康チェックをすること。

※該当しない場合は✓を入れ、該当する場合は○を記入すること（体温0.1℃単位の数字を記入）

No.	チェックリスト	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/
1	のどの痛みがある														
2	咳（せき）が出る														
3	痰（たん）がでたり、からんだりする														
4	鼻水、鼻づまりがある ※アレルギーを除く														
5	頭が痛い														
6	体のだるさなどがある														
7	発熱の症状がある														
8	息苦しさがある														
9	味覚異常(味がしない)														
10	嗅覚異常(匂いがしない)														
11	体温	℃	℃	℃	℃	℃	℃	℃	℃	℃	℃	℃	℃	℃	℃

※症状が4日以上続く場合は必ず最寄りの保健所、診療所等に報告してください。症状には個人差がありますので、強い症状と思う場合にはすぐに報告してください。

※保健所、診療所等に相談後、必ず大会主催者に報告してください。

令和 年 月 日

一般社団法人横浜市陸上競技協会 御中

参 加 状 況 報 告 書

「参加者の健康状況チェックシート」の結果、参加者の健康状況は良好であるため、次の大会・事業等に参加いたします。

また、代表者等の健康状況も良好であることを確認しました。

参加大会名（事業名） _____

参加者数 _____ 名 代表者等数 _____ 名

以上、報告いたします。

団体名 _____

代表者名（自著） _____

競 技 順 序

2020年9月13日(日)三ツ沢

順序	競技開始時刻	種 目	組	現地招集	参加人数	番組編成の参考タイム
1	16:25	女子 3000m	1組	16:10	22名	11:38.72～記録なし
2	16:40	女子 3000m	2組	16:25	22名	9:29.48～11:34.52
3	16:55	男子 5000m	1組	16:40	32名	記録なし
4	17:20	男子 5000m	2組	17:05	32名	18:16.47～21:00.00
5	17:45	男子 5000m	3組	17:30	31名	17:31.96～18:16.12
6	18:10	男子 5000m	4組	17:55	31名	17:00.00～17:31.10
7	18:35	男子 5000m	5組	18:20	31名	16:11.00～17:00.00
		女子 5000m	1組		2名	
8	19:00	男子 5000m	6組	18:45	31名	14:58.50～16:09.45
9	19:20	男子 10000m	1組	19:05	27名	

競技注意事項

1 規則

- ・本大会は2020年日本陸上競技連盟規則並びに本大会申し合わせ事項によって実施する。

2 練習

- ・練習は補助競技場で行う。(14時～17時まで利用可)または、競技場内で競技の支障ないように注意して行う。 ※公園内など競技場外での練習は一切禁止とする。
- ・練習は競技役員の指示に従い、危険防止に努めること。

3 競技場

- ・競技場の開門時間は、14時00分である。
- ・本競技場は全天候舗装である。トラックの厚さは約13mmである。走路の保全と競技者の安全のために、競技規則143条を参照されたい。

4 招集

- ・招集は、スタート地点にておこなう。
- ・現地招集時刻は競技開始15分前である。
- ・現地招集に遅れた者は、欠場とみなし出場を許さない。
- ・選手は事前に本部(役員室2)に特別ナンバーカード(胸、背)および腰ナンバーカード(3000mは1種類、5000, 10000mは2種類)を受け取り、安全ピンで結着しておくこと。

5 ナンバーカード

- ・ナンバーカードは、本部(役員室2)にて配布する。
- ・3000mについては、特別ナンバーカード(背、胸)・腰ナンバーカードが渡されるので、これを結着する。フィニッシュ後、各自持ち帰ること。
- ・5000m、10000mについては、特別ナンバーカード(背、胸)・写真判定用の腰ナンバーカード・周回確認用のチップの付いた腰ナンバーカードを渡されるので、写真判定用は右腰に、周回確認用は左腰に結着する。フィニッシュ後、左腰の周回確認用は本部に返却し、右腰の写真判定用および特別ナンバーカード(胸、背)は各自持ち帰ること。
- ・3000mの競技者は安全ピンを12本、5000m、10000mの競技者は安全ピンを16本各自で用意すること。

6 トラック競技の走路順について

- ・トラック競技の走路順は主催者が抽選しプログラムに示す。
- ・全ての種目についてグループスタートとする。

7 計時

- ・計時は電気計時(100分の1秒)とする。
- ・各種目の競技結果は、掲示せず、通告とWEB上で確認してください。

8 抗議

- ・競技規則146条によって行うこと。

9 その他

- ・新型コロナウイルス対策のため、保護者、OBなど観客の競技場への入場はできない。(無観客競技会)
- ・プログラムに訂正等ある場合には、本部庶務まですみやかに連絡すること。
- ・競技会で発生した傷害については、主催者側で応急処置をする。以後の治療等は各自の責任において行うこと。
- ・競技場内で声を出しての応援は、おこなわない。
- ・更衣室は、更衣のみに使用し、シートを敷くことを禁止とする。
- ・競技運営上、著しく遅れた選手に対して競技を中止させる場合がある。
- ・10000mにおいては、レース打ち切り時間を設ける。次の時間内に、最終周回に入っていること。
38' 00" 00
- ・競技場内に商品名、会社名のついたものを持ち込むことは、日本陸連の「競技会における広告および展示物に関する規程」に抵触するのでつしむこと。
- ・競技終了後、自席の清掃をすること。なお、各自のごみは、持ち帰ること。
- ・貴重品は各自で保管し、紛失には十分注意すること。

10 新型コロナウイルス感染リスクを軽減させた競技会運営に向けた対応について

- ・表題の資料は、横浜市陸上競技協会ホームページに掲載してあるので記載事項を必ず確認して下さい。
- ・競技会に関わる競技者、チーム関係者の方々はこの記載事項を遵守して競技会に参加して下さい。
- ・競技会当日開始前に本部へ提出してもらうもの
 - 一般、大学生は参加状況報告書または体調管理チェックシートを提出する。
 - 高校生については高体連方式の参加状況報告書を顧問が提出する。
- ・*これらの書類が提出されなければ、競技場への入場、および出場することは出来ません。